

る る
る

る人 も つ と
るタ つ る ど じ^る で
ち た
で ち る 人 つ も ッ で もで 今
で ち つ た
で ち^る ち^向 じ^じ で ち^で る た
る ち^ち つ^つ で ち
る ち^て で ち
る も で つ も つ た もで る
と つ で る
る

2020年6月23日
広島大学平和センター

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット
開催の趣意

戦後、国際社会は自由で開かれた国際協調主義を標榜し育んできた。経済のグローバル化が進展する一方、これに伴う影の部分として、途上国における貧困、気候変動、新興・再興感染症などの公衆衛生や難民問題が深刻化していった。これらのグローバル課題は、一国だけで解決することは困難で、国境を越えた世界規模での協調の必要性は常識であった。議論はあったにせよ、国際社会はグローバル化の瑕疵を反グローバリズムによってではなく、グローバルな協調によって乗り越えようとしてきたのである。

ところが今般の新型コロナ禍は、一国では解決できない問題であるにもかかわらず、戦後75年長きにわたって構築されてきたグローバルな協調体制を根底から覆すような事態を招いている。皮肉にも、各国は自国を考えることで手一杯となり、他国との協調を捨てた「自国第一主義」が広がりつつある。

こういった時代であるからこそ、「平和」を標榜する広島大学は、冷静にポスト・コロナの社会を見据えて、自国主義に陥らない国際協調による「平和」を模索し、具体的な提案をする使命を負っている次世代を担う学生を中心に、ポストコロナの「平和」を自由闊達に議論してもらう場として、2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミットを開催する。

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット: 募集要項

1. 趣旨・目的

選抜された広島大学の多国籍の学生が、「平和」の重要性・意味について議論、発表します。原爆、虐殺、捕虜虐待や飢餓など人類が直面した惨劇を真正面から捉え、そこから和解と恒久平和に向けた教訓を得ながら、未来の世界について考えます。

2. 2020 年のテーマ

世田は新型コロナウイルスの流行により、多くの健康は脅かされる中、私たちの社会は生活防衛のよ...

日々、戦っています。しかし、事態が長期化するなかで、核廃絶に向けた知的対話、真剣な議論の火を消さないことも、また重要です。例えば、新型コロナ禍によって NPT 再検討会議は無期限延期されている状況を考えてみましょう。核軍縮に向けた議論は事実上、棚上げになってしまっています。したがって被爆 75 周年を迎える本年は、ポスト新型コロナウイルス時代の世界も見据えつつも、他方でヒロシマの経験という原点に立ち返りながら、被爆経験の継承と核廃絶の取り組みのために市民社会、国際社会が成すべき原則を構想し、普遍的平和を目指す「2020 学生ヒロシマ宣言」として発表します。

なお、新型コロナ感染拡大の影響がなければ、広島大学外の大学生の参加も考えていましたが、2020 年本サミットへの参加資格は、広島大学の学生に限定します。

2020 6 7

- 必要書類:
 - 出願フォーム(Application Form)
 - エッセー「新型コロナ後の世界におけるヒロシマの役割について」(氏名とタイトルをのぞき、英文で500-800 Words)
以上をメールで送付する (heiwa@hiroshima-u.ac.jp)。表題には「Application for **2020 Student HIROSHIMA Summit**」と明記のこと。

- 選考結果:
 - 平和センターのメンバーが最終候補者を選考します。
 - 最終候補者には 2020 年 6 月 12 日までに連絡します。

5. 問い合わせ

The Center for Peace, Hiroshima University

広島大学平和センター

〒730-0053

広島市中区東千田町 1-1-89

TEL 082 542 6975

FAX 082 245 0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

なお、選考過程に関する問合せには応じられませんのでご了承ください。